



マダニからうつる感染症

＜保健科学担当＞

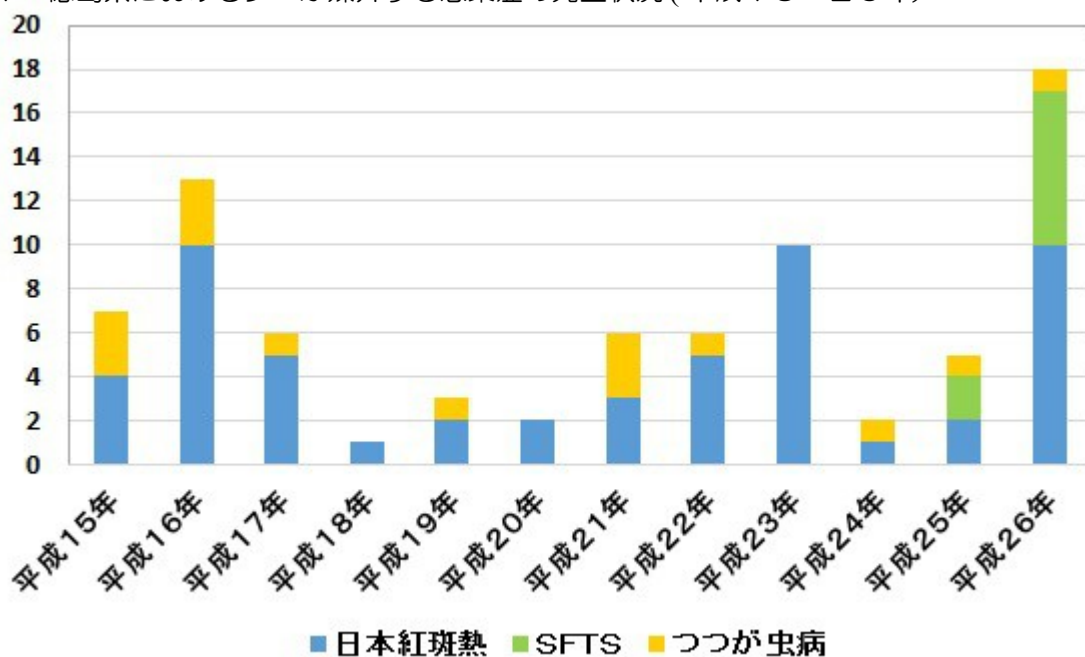
ダニに咬まれてかかる感染症はいくつかあり、徳島県では表1に示す病気の発生が確認されています。本年は「日本紅斑熱」、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」の発生が増えており、過去10年で最も多くなっています（グラフ1）。

ダニの活動は、春から秋にかけて活発になります。ダニが生息する山や畑などで活動するときは、十分な注意が必要です。

表1 ダニに咬まれて感染する疾患

疾患名	病原体	媒介するダニ	潜伏期間	症状・特徴
日本紅斑熱	日本紅斑熱 リケッチア	マダニ類	2～8日	突然の高熱・倦怠感・頭痛・発しん・ 刺し口
重症熱性血小板 減少症候群 (SFTS)	SFTS ウイルス	マダニ類	6～14日	発熱・消化器症状（嘔吐、下痢、腹痛な ど）・重症化すると死亡することがある
つつが虫病	つつが虫 リケッチア	ツツガムシ類 (ダニの一種)	5～14日	発熱・発しん・倦怠感・頭痛・リンパ節 の腫れ・刺し口

グラフ1 徳島県におけるダニが媒介する感染症の発生状況（平成15～26年）



（平成26年については1月から9月末までの集計）

マダニってどんなもの？

病気を媒介するダニ類はおもに草むらや森林などに生息している「マダニ類」「ツツガムシ類」で、室内で食品や衣類に発生するダニとは種類が異なります。室内のダニは目で見えない大きさですが、マダニ類の成虫は比較的大型で目で見ることができます。



マダニ（吸血前：3～8 mm）

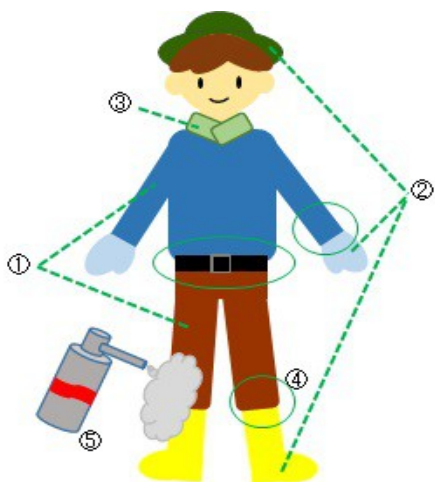


マダニ（吸血後：1cm 以上）



動物の皮膚に口器を刺すマダニ

予防するには



ダニ による感染症にかからないためには
「ダニにかまれないこと」が重要です！

- ① 長袖・長ズボンの着用
- ② 帽子・手袋・長靴の着用
- ③ 首にはタオルなどを巻くかハイネックを着用
- ④ 上着の裾はズボンの中へ、ズボンの裾は長靴の中へ
- ⑤ ダニ類に効果のある防虫スプレーを補助的に使用

もし咬まれたら・・・

吸血中に気づいたときは、無理に引き抜かず、皮膚科や外科を受診しましょう。

発熱など体調に変化が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。その際はダニに咬まれたことを医師に伝えてください。

詳しくは徳島県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

「ダニによる感染症に注意しましょう！」

(<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011080300018/>)